

登録有形文化財（建造物）の新たな登録について

文部科学省の文化審議会（会長 西原鈴子）は平成 23 年 7 月 15 日（金）に開催される、同審議会文化財分科会の審議・議決を経て、新たに 178 件の建造物を登録するよう、文部科学大臣に答申を行う予定です。

福井県関係では以下の 5 件が答申予定です。

なお、本県の登録有形文化財（建造物）について、前回は平成 23 年 3 月 18 日に答申された小浜市立小浜中学校洗心館ほか 16 件に続いて、今回で 109 件となります。

（＊ この件については、平成 23 年 7 月 15 日（金）15 時以降に報道規制解除）

【答申予定の登録有形文化財（建造物）】

	名称	員数	所在地	所有者
1	おおほしけじゅうたくしゅおく 大橋家住宅主屋	1 棟	鯖江市石田上町 38 字南ノ町 20 他	大橋 巧
2	おおほしけじゅうたくおもてもん 大橋家住宅表門	1 棟	鯖江市石田上町 38 字南ノ町 20 他	大橋 孝子
3	おおほしけじゅうたくどぞう 大橋家住宅土蔵	1 棟	鯖江市石田上町 38 字南ノ町 20 他	大橋 巧
4	とりはましゅぞうてんぼけんじょうぞうじよ 鳥浜酒造店舗兼醸造所	1 棟	三方上中郡若狭町鳥浜 59 天田 30	鳥浜酒造株式会社
5	とりはましゅぞうえんとつ 鳥浜酒造煙突	1 棟	三方上中郡若狭町鳥浜 59 天田 30	鳥浜酒造株式会社

○ 大橋家住宅主屋 1棟

・所在地 福井県鯖江市石田上町 38 字南ノ町 20 他

・所有者 大橋 巧 (おおはし たくみ)

・年代 明治後期

・登録基準 国土の歴史的景観に寄与しているもの

・特徴 古くからの大百姓家である。約 900 坪を有する広い敷地の中に、大規模な住宅、土蔵、明治期につくられた診療所の表門を備えている。

建物は木造 2 階建、建築面積 201 平方メートル、切妻造棧瓦葺、平入りの上屋に下屋が付く。式台をもち、田の字型に配された 8 畳のホンザシキとザシキ、6 畳のナカノマ 2 室、さらに奥にキュウソクマ、ブツマの 2 室が続く。ホンザシキには鳳凰の透かし彫りの欄間がみられ、ブツマも格天井を張るなど整った室内意匠をもつ。越前地方における大規模民家の好例。



○ 大橋家住宅土蔵 1棟

- ・所在地 福井県鯖江市石田上町 38 字南ノ町 20 他
- ・所有者 大橋 巧 (おおはし たくみ)
- ・年代 明治 14 年 (1881)
- ・登録基準 国土の歴史的景観に寄与しているもの
- ・特徴 主屋の東側に位置する。土蔵は切妻造棧瓦葺で、桁行 4 間 (7.6m)、梁間 2 間半 (4.8m)、土蔵造 2 階建の建築である。外観は軒先まで白漆喰の大壁で塗こめられ、2 階の腰高まで下見板が張られ、風情のある屋敷景観をつくる。



○ 大橋家住宅表門 1棟

- ・所在地 福井県鯖江市石田上町 38 字南ノ町 20 他
- ・所有者 大橋 孝子（おおはし たかこ）
- ・年代 明治後期
- ・登録基準 国土の歴史的景観に寄与しているもの
- ・特徴 表門は集落内の通りに面して建つ。門口は約 2.1mあり、冠木門を基本とし、左右に脇柱をたてて潜戸を設け、本柱の背後に控え柱を添えて、親柱の頂部や冠木などの上に銅板葺きの切妻屋根をかける。通常の形式とは異なる独創的な門構えをつくる。



○ 鳥浜酒造店舗兼醸造所 1棟

- ・所在地 福井県三方上中郡若狭町鳥浜 59 天田 30
- ・所有者 鳥浜酒造株式会社（とりはましゅぞうかぶしきがいしゃ）
- ・年代 大正9年（1920）
- ・登録基準 国土の歴史的景観に寄与しているもの
- ・特徴 京都に建てられていた建物を移築し、手を加えて醸造業を創業したと伝えられている。建築面積は395平方メートル、土蔵造2階建、寄棟造棧瓦葺の建物である。
道路側には独立した構造で建てられた下屋がつく。昭和30～40年頃までは醸造の「蒸し」という過程で薪や石炭を用いており、その際に使用された釜などが残っている。釜から出た煙は地中の煙道を通して、道路際の煙突に導かれている。
鳥浜酒造のシンボルともいえる煙突とともに、造り酒屋の風情ある景観を構成している。



○ 鳥浜酒造煙突 1 棟

- ・所在地 福井県三方上中郡若狭町鳥浜 59 天田 30
- ・所有者 鳥浜酒造株式会社（とりはましゅぞうかぶしきがいしゃ）
- ・年代 昭和前期、昭和 49 年（1974）改修
- ・登録基準 国土の歴史的景観に寄与しているもの
- ・特徴 昭和 30～40 年代頃までは、この煙突が使用されていた。基礎部分は約 1.2m の正方形平面で、イギリス積を基本とした積み方で構成され、高さは約 13m である。工場から煙突へつながる地中の煙道は、幅を 1 尺 5 寸（約 0.48m）、高さを約 1 尺 8 寸（約 0.55m）とし、上面を煉瓦アーチで支える。地域のシンボルとして親しまれる煉瓦造煙突である。

